## ~ご担当の先生へ~

#### 「入院・手術・通院等証明書(診断書)」作成のお願い

「入院・手術・通院等証明書(診断書)」は、入院給付金等のお支払を 判断させていただくうえで必要な書類であり、また患者様に対して 迅速にお支払いするうえでも極めて大切な書類です。

お忙しい事と拝察いたしますが、正確なご記入をよろしくお願い 申し上げます。

#### ◆ ご記入にあたって

- 記入例および説明を裏面に掲載しておりますのでご参照ください。
- 訂正が生じた場合、必ず証明印による訂正印を押印ください。
- ご記入いただいた内容に不明な点がある場合には、当社から お電話等で照会・確認させていただくことがございます。
- ご病状の経過等について、担当者がお伺いし、確認させて いただくことがございます。

#### 入院・手術・通院等証明書(診断書)

社外厳秘



**ロンくによった。** これは記入見本につき架空の例です。

1	是出先:ア				1 410 60										_
	氏	名	フリガナ <b>アケ</b>	クサ	ハナコ <b>花子</b>	-		テ番号 <b>3456</b>	男囡	生年月日	令和 平成 昭和	<b>1 1</b> 年	<b>1</b> 月	11⊟	
	1					丙	名	J-130		易病発生	生年月日		診り	折日	願
Α		院等の原因 た傷病名	12転	移性腦	維傷 (	認知指	<u>-</u>	-10⊐-⊦ <b>C79</b> 3F03	1	或) 1		表師推定 (2) 患者申告 (2)	文 第 2 年	3 6 月 <b>9</b> 日	10
		, E H		+	肺癌			-10⊐−片	令和 )(平	或.>	<u>.</u>	医師推定)。	) <b>2</b> 年 (平成)	<b>b</b> :月: <b>7</b> :日 ····, ;·········	
		り原因以外の	傷病名			/ 信 <del>位</del> 文	生時期	<b>C34</b> ウ. の傷病			詳っり独での入院		0 1	0 1 1	<b>D</b> (1)
	ウ  入院中	けんがめ 中に治療 傷 病		糖	尿病	2	在 <b>2</b> 月頃	単独での 入院必要性		. 奶奶料 <b>2</b> <sub>组</sub>		<b>3</b> <sub>□</sub> ~	<b>2</b> <sub>年</sub>	3 <sub>□</sub> 23 <sub>□</sub>	
D	エ アイのい 急性心筋	がずれかが <b>5梗塞</b> 」の場合			時点で労働の N家事等の軽労				活動では制限	艮を必要とす	る状態をいい	(	要	不要	T ) 複
	オ ア、イのい 「脳卒中」		今回の初診E 中枢神経系統			無律		の場合、詳細 記入ください	2						E
	2.傷病名が 悪性新生物		<b>⑤和</b> (平成)	<b>2</b> <sub>年</sub>	<b>3</b> 月	2 <sub>⊟</sub>	(p)	T ( 4	)	(	上皮内癌、非浸潤性	(原発)	大腸の場合は	組織学的壁深達度 SM以深	<b>1 1</b> 5
F	または 上皮内新生物	<b>三</b> 松产用组件					- T N M   分 類	N ( 3	)性診	状断	浸潤性	転移		新生物の診断が その発症年月	
lacksquare	の場合	検査結果	. =	腺				M ( 1	)			(再発)		) 年 1 0 月 頃	まの よ場 は合
	3.治療期間		1項 アの初記	》日(平成)	2年		月	3 ⊟ ~	2年	6		0日 (終		見在加療中	黒はまそ
	4.入院	108	全和 平成 2	年 2	月 3 日	<b>全和</b> ~(平成)	<b>2</b> 年	3月23	1:   -	原至官埋料: 拟	命救急入院料 (有)	生存退院	<ul><li>▼ 転院</li><li>▼ 転科</li></ul>	入院中	れぞ
	入院期間	208	<b>金</b>	Л	月 15日	<b>⑥</b> 和	2	4 <sub>月</sub> 30			命救急入院料	生存退院	転院	入院中	れたに捺
G	入退院日が同 一の場合(日帰 り入院)もご記		(平成) <b>ム</b> <b>4</b> <b>8</b> の入院があれば	年 4		~(平成)	4年 年 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日		.:-	を記入くださ	(有) ():	死亡退院	〔転科〕	) (2001)	が お り 順 し
	入ください		令和 2 年					枚急入i		_	0.0				) て く よ
		妊娠・分による入	、院   うち、公的	9医療保口	令和)	年月	]	(令和)	在	月		(令和)	年	月日	たさい
$\subseteq$	5.前医または	200	コート   れない期間	間	于 <u>烬/i</u> '	+	) <u></u>	C11027 LLLLL	'	!/ - !!	; <sup></sup> (初診時期	)	' !!		Jan °∘ II III
	紹介医 6.既往症		、 / 炬 左 々		口上		(医療	病院	<u> </u>		<u>(</u> 受療期間			3日頃	
Щ	持 病 <b>7.手術</b>		<b>ノ→</b> 2.のいずれか		呆病 1.開頭術	7/2. 穿頭	(衝// 3. 開	<b>X</b> ′ 胸術(含開	<mark>フリニ</mark> 心術)			年 <b>10</b> 月頃 5.開腹術/6			`
	今回の傷病	番号を	ご記入くた	ささい。	9. 経皮的	10. 経	尿道的 11		12. その	也(		テルによるき		·治療 )_	必 ず 証
	に 関 し て 実 施 し た 全ての手術		秋ヨ9つ ものを すべてご 手指	頭術の場合 =	<ul><li>の場合 ⇒ ア. 種</li><li>⇒ オ. 新たな穿豆</li><li>の場合、MP関節</li></ul>	頁 力. 既存の	穿頭孔を使用	ぶ コ 及ばな	口腔内	手術の場合、	顎骨への操作	5cm2以上 エ. ⇒ キ.及ぶ ク 釘 シ.その他			明
	※医療診療報酬		記入くだ。筋、	腱、靭帯、関節	竹内の切断・切開	・縫合を⇒	ス.伴う セ.伴木	かない	カテー	テル手術の場	合⇒ 火頭	支 タ. 頭頚部・躯草 出した ト.摘出し		資骨下血管含む)	印によ
	点数表において 1回のみ算定 される場合は、	(4 40)	(ア〜ト)		名(気管切開			左	右で一対と	なる 📥 🗀	<b>等含む)</b> 右 左	<b>元</b> (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本) (日本)	<b>手術</b>	8	J
	同一欄に手術日をご記入くださ	•		盍	<b>为腫</b> #	<b>景摘</b>	出術	<u> </u>	位・臓器の   J - (	<u></u>		なし 2		月 4日	
	い 例: 網膜光凝固術	Q	(ア~ト) <b>ド</b>	刺腔	ドレコ	<i>†</i> –	ジ	左 部 心	右で一対と B位・臓器の ()(J)- (	なる 場合 019	右 左 (算定	·············   ; ; 🖊	<sup>平成)</sup> 上 <sub>年</sub> <b>【</b>	月 20日	¯を → お … 願
	など	3回目以降	 の手術があれば <b>中心静脈</b> !	、手術名、手 <b>学                                    </b>	術日、手術種類 <b>里:入刑力・</b>	、手術内容等 <b>デーテル</b>	をご記入くだる - <b>知識(頭</b>	<u>200</u> 章歌)k: さい。					4 11.7		し
	8.先進医療	治療の	貴院にて評価療	養として施行		いる先進医療			0.10 1.	74624	07110				#
K		種類治療の	(INT #1)	ING C IT	25 <sub>二~</sub>	和			ミ施	1	技術料	生医療の技術料(		だきい。 <b>0: 0: 0</b> m	11
	9.放射線治療	実施日	放射線また	は温熱療		光成月   注	診療報酬		到数	部位		照射期間		<b>※線量</b>	۲_
	および温熱療法			射 温熱	療法)(IM	RT M-	- (001-2	先進医療 ) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	····· 7	大脳	開始 2		20⊟ 20	<b>50</b> <sub>Gy</sub>	L
	10. 通院		病での通院治療					・分娩による		合は公的医療	11123			合計	
	2 年 月	1 2	3 4 5 6	5 7 8		12 13 14	15 16 1	7 18 19	20 21 22			7 28 29 3	31	1 🛭	
	年 月 年 月 年 月		3 4 5 6		9 10 11		15 16 1 15 16 1	7 18 19	20 21 22 20 21 22 20 21 22	2 23 24			31	8	1
M	11.後遺障害	視力喪	失言語機	能喪失)	咀嚼機能喪	美(全が	) 助状態	対麻痺)	その他)	(				)	$\mathbb{D}$
	上記のとおり 病院または診れ		// 1 1	<sup>也</sup> 東京都 <sup>か</sup> アクサ	『港区白金 ・病院	· · · · · · · ·	-0		(	証明日)	令和	<b>2</b> 年	8 月	30 ⊟	
	介護老人施設				^	](	0000			医師氏名	亜	草太	郎		

# ご記入にあたっての補足説明

- 証明日までに行われた実際の治療内容等についてご証明ください。
- 証明日、医師氏名(署名)、ご証明印の押印等についても漏れのないようお願いいたします。

	,, , ,	30,42VO (OO)	Cm 71-15011-17016 2016 3016 3016 3016 3016 3016 3016 3016 3
	項		解説・注意点
	Α	イ. ア. の原因	●入院が複数回あり原因が異なる場合は、傷病名に①②…と番号を付けていただき、それぞれ1回目、2回目…の入院欄にご記入ください。 ● ケガの場合は、受傷原因(交通事故・スキー中転倒など)をご記入ください。
	В	傷病発生年月日 診断日	<ul><li>● お分かりになる範囲で傷病発生年月日(ケガの場合は受傷日)をご記入ください。</li><li>● 傷病発生年月日が不明な場合は、「不詳」とご記入ください。</li><li>● 診断日はアまたはイ欄の傷病名と確定された日をご記入ください。</li></ul>
	C	ウ.ア・イ以外の 入院中に治療した傷病	● ア・イ以外で入院中に治療した傷病のうち、その傷病単独で入院治療の必要があった傷病があれば、傷病名、入院治療の必要期間をご記入ください。
1項	D	傷病名が 『 <b>急性心筋梗塞</b> 』 の場合	● 対象となる急性心筋梗塞とは、冠状動脈の閉塞または急激な血液供給の減少により、心筋が壊死に陥った疾病で、原則として以下の3項目を満たすものです。 1. 典型的な胸部痛の病歴 2. 新たに生じた典型的な心電図の梗塞性変化 3. 心筋細胞逸脱酵素の一時的上昇 ※ 証明日時点で初診日から60日経過していない場合は、後日証明をお願いする場合がございます。
	E	傷病名が 『 <b>脳卒中</b> 』 の場合	<ul> <li>対象となる脳卒中とは、脳血管疾患のうち「くも膜下出血」「脳内出血」「脳動脈の狭塞」を言い、脳血管の異常(脳組織の梗塞、出血、ならびに頭蓋外部からの塞栓が含まれる)により脳の血液の循環が急激に障害されることによって、24 時間以上持続する中枢神経系の脱落症状を引き起こした疾病です。</li> <li>中枢神経系後遺症「有」の場合は、その状態(言語障害、運動失調、麻痺など)についてご記入ください。</li> <li>※ 証明日時点で初診日から60日経過していない場合は、後日証明をお願いする場合がございます。</li> </ul>
2項	F	傷病名が 『 <b>悪性新生物</b> 』 または 『 <b>上皮内新生物</b> 』 の場合	●診断確定日、病理組織診断名をご記入ください。 ●診断確定日は、生検もしくは手術標本など、いずれか最初に病理組織診断が確定された日をご記入ください。(生検日、手術日ではありませんのでご注意ください)。 ●ご証明いただいた診断確定日以前(過去)に罹患され、診断確定されている場合はその発症年月をご記入ください。 ●病理組織診断結果が無い場合は、診断確定方法をご記入ください。この場合、「診断確定日」は病理
		7 %2	組織診断以外の検査などでの診断確定日をご記入ください。  ●2つ以上のガンが発生している場合はそれぞれの診断をご記入ください。
4項	G	入院期間	<ul> <li>●入院が複数回あり、その原因が異なる場合は傷病ごとに入院期間を区分してご記入ください。</li> <li>●特定集中治療室管理料が算定された場合、救命救急入院料が算定された場合は、有に〇印をご記入いただくか、有とご記入ください。ハイケアユニット入院医療管理料および脳卒中ケアユニット入院医療管理料の場合には、ご記入は不要です。</li> <li>●当欄に記載しきれない場合は別紙にご記入いただいても結構です。別紙にご記入の際は、当欄に「別紙あり」とご記入いただき、別紙についても患者様氏名・医師氏名をご記入のうえ、証明印を押印ください。</li> </ul>
		妊娠・分娩による 入院の場合	●入院期間中に公的医療保険制度が適用されない入院期間がある場合には、その期間をご記入ください。 ●入院期間中に分娩した場合には、分娩日をご記入ください。
5項	Н	前医または紹介医	● 医療機関名・初診時期等おわかりになる範囲でご記入ください。
6項		既往症・持病	<ul><li>● 既往症がある場合、傷病名・医療機関名・受療期間等おわかりになる範囲でご記入ください。</li><li>● 複数の医療機関で診断・治療等をされている場合はお手数ですが、その旨を列挙いただきますようお願いいたします</li></ul>
7項	J	手 術	<ul> <li>診療報酬点数表で「手術料」が算定される手術はすべてご記入ください。また診療報酬点数表に基づく番号もご記入ください。</li> <li>診療報酬点数表で「処置料」が算定される処置のうち「持続的ドレナージ(穿刺は除く)」はご記入ください。</li> <li>手術の内容については複数選択される場合もございますのであてはまるもの全てをご記入ください。</li> <li>当欄に記載しきれない場合は別紙にご記入いただいても結構です。別紙にご記入の際は、当欄に「別紙あり」とご記入いただき、別紙についても患者様氏名・医師氏名をご記入の上、証明印を押印ください。</li> </ul>
8項	K	先進医療	●貴院にて評価療養として施行が認められている先進医療のみご記入ください。 ●技術料は、受療者の自己負担となる金額のみをご記入ください。
9項	L	放射線治療 および 温熱療法	<ul> <li>● 証明日時点にて、実際に照射した内容のみご記入ください。</li> <li>● 当欄に記載しきれない場合は別紙にご記入いただいても結構です。別紙にご記入の際は、当欄に「別紙あり」とご記入いただき、別紙についても患者様氏名・医師氏名をご記入の上、証明印を押印ください。</li> </ul>
11項	M	後遺障害	● 最終診療日時点で残存した後遺障害があれば、その詳細を選択またはご記入ください。
	- KK 00 0	· ⋼∅҂⊁∧ाॐ	

### 入院・手術・通院等証明書(診断書) 社外厳秘

提出先: アクサキ命保険株式会社

A	0	1	0	8	0	0	2	0

氏		I ¬ I I # +					( A m)			
	名	フリガナ		(	カルテ番号	) 男女	生年 (章和) (東成) (東成) (東成)	年	月	В
1			傷	<b>克</b> 名			<b></b>		診断E	3
	完等の原因 た 傷 病 名				CD-10⊐-F	(令和)(平成)	月日	医師推定) (令) (患者申告)	0.)(平成) 年 月	1
イア. σ.	)原因				CD-10⊐-F	(令和)(平成)	月日	医師推定) (急) (患者申告)	(平成) 年 月	
ウ  入院中	以外のに治療	傷病名		傷病発生時期	単独で	病 (有) ウ. (	 の傷病単独での入			
一 ア、イのい	傷 ずれかが <b>梗塞</b> Jの場合	今回の初診日から60E (「労働の制限」とは、軽			必要としますか。		<u>年</u> 月 必要とする状態をい		, ,	J U
オア、イのい「脳卒中」		今回の初診日から608 中枢神経系後遺症はあ		無有中	「有」の場合、詳細をご記入ください			:		不要
2.傷病名が <b>悪性新生物</b> または	診 断確定日	( <u>令和)</u> (平成)	年月		T ( p ) N M N (	) 性 ;	上皮内癌、非浸潤性	原発)	大腸の場合は組織  M  以前に悪性新生	SM以深
上皮内新生物の場合	最終病理組織 診断名または 検 査 結 果			分	類 M(		<b>斯</b> 浸潤性	(再発)	された場合その	D 発症年月 月頃
3.治療期間		1項 アの初診日 (発展)	年 年	月	8 ∼	年	月	日(終	診 現在	加療中)
<b>4.入院</b>	108	(令和) (平成) 年	月日	(令和) ~(平成)	年 月	特定集中治療室 (有)	管理科 救命救急入院 (有)	料 (生存退院) 死亡退院	(転院) (転科)	(入院中)
入退院日が同 一の場合(日帰	20目	(令和) (平成) 年	月日	(令和) ~(平成)	年 月	特定集中治療室 (有)	管理科 救命救急入院	料 (生存退院) 死亡退院	(転院) (転科)	入院中
<u>リ入院)もご記</u> <u>入ください</u>	3回目以降	  春の入院があれば、「入院日	」「退院日」「特定	E集中治療室管理料	料の有無・救命救急入	院料の有無」を記	入ください。			
	妊娠・分 による <i>入</i> の 場	↑娩 上記入院期間の 、 うち、公的医療保 、 険制度が適用されない期間	(令和) (平成)	年月月	(令和) 日~(平成)	年月月	分娩	:日 (令和)	年	В
5.前医または 紹介 医	無有	(医療機関名)					(初診時	期)	年 月	日頃
6.既 往 症 持 病	無有	(傷病名)			(医療機関名)		(受療期	年 月頃~	~ 年	月頃
7.手術		2.のいずれかの	1. 開頭術 7. レーザ		3. 開胸術(含l ァイバースコーフ		胸腔鏡下手術 バスケットカテ		. 腹腔鏡下手 術・処置・治	啊
								,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	()(3) ( <del>) (</del>	""///////
今回の傷病 に 関 し し 実 施 し た 全ての手術		をご記入ください。 該当する ものを すべてこ デ記とだ 新聞係の手行 穿頭術の場合 手指足指の手行	術の場合、MP関節	息血 イ、非観血 (5) カ、既存の穿頭子 を含めて中枢側に =	礼を使用 ⇒ ケ.及ぶ コ.及は	ロ腔内手術ない 骨内異物防	、 皮弁術の場合 ⇒ ウ 所の場合、顎骨への操 除去術の場合 ⇒ サ.	作 ⇒ キ.及ぶ ケ 抜釘 シ.その他		<b>)</b>
に関して 実施した 全ての手術 ※医療診療報酬 点数表において		意当する ものを すべてご 記入ぐだ さい。 「筋骨関係の手 穿頭術の場合 手指足指の手 筋、腱、靭帯、膜 字宮・子宮附属	術の場合 ⇒ ア.復 ⇒ オ.新たな穿頭 術の場合、MP関節 前的内の切断・切開 誤器の手術の場合、	<ul><li>見血 イ、非観血</li><li>計、既存の穿頭子</li><li>を含めて中枢側に =</li><li>・縫合を ⇒ ス伴う</li><li>子宮または卵巣を =</li></ul>	礼を使用 ⇒ ケ.及ぶ コ.及は	植皮術・筋 口腔内手術 ない 骨内異物隊 カテーテル 以外 悪性腫瘍(	iの場合、顎骨への操 法術の場合 ⇒ サ. 手術の場合 ⇒ ソ.② 悪性組織)を ⇒ テ.∮	作 ⇒ キ.及ぶ ク 抜釘 シ.その他 0肢 タ.頭頚部・躯勢	及ばない (腸骨動脈・鎖骨	
に関してまた。 実での手術・ ※医療診療報酬・ 点数表において 1回の場合は、 同一欄に手術日		意当する ものを すべてご 記入ぐだ さい。 「筋骨関係の手 穿頭術の場合 手指足指の手 筋、腱、靭帯、膜 字宮・子宮附属	術の場合 ⇒ ア.復 ⇒ オ.新たな穿頭 術の場合、MP関節 前的内の切断・切開 誤器の手術の場合、	<ul><li>見血 イ、非観血</li><li>計、既存の穿頭子</li><li>を含めて中枢側に =</li><li>・縫合を ⇒ ス伴う</li><li>子宮または卵巣を =</li></ul>	A.を使用 ⇒ ケ. 及ぶ □. 及は セ.伴わない ⇒ チ. 全摘、少. 全摘 、TAE、持続的ド	植皮術・筋 口腔内手術 特内異物的 カテーテル 以外 悪性腫瘍(i レナージ、シャ 左右で一対となる 部位・臓器の場合	iの場合、顎骨への操 法術の場合 ⇒ サ 手術の場合 ⇒ サ 悪性組織)を ⇒ テョ ント術等含む)	作 学 主、及ぶ 万 抜釘 ジ、その他 即肢 夕、頭頚部・躯挛 商出した 「下・摘出し」	及ばない (傷骨動脈・鎖骨 ない 手術日 (成)	下血管含む)
に実全で、経療を表現のでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな	種類(1~12)	変当する 該当する まのを すべてご記入ぐださい。	術の場合 ⇒ ア.復 ⇒ オ.新たな穿頭 術の場合、MP関節 前的内の切断・切開 誤器の手術の場合、	<ul><li>見血 イ、非観血</li><li>計、既存の穿頭子</li><li>を含めて中枢側に =</li><li>・縫合を ⇒ ス伴う</li><li>子宮または卵巣を =</li></ul>	代を使用 ⇒ ケ. 及ぶ コ. 及は セ.伴わない ⇒ チ. 全摘、ツ. 全摘 、TAE、持続的ド	植皮術・筋 口腔内手術 かい 骨内異物的 カデーテル 以外 悪性腫瘍() レナーン、対となる 部位に臓器の場合 に	iの場合、顎骨への操 法術の場合 ⇒ サ 手術の場合 ⇒ サ 悪性組織)を ⇒ テ・ラ ント術等含む)	作 ⇒ キ 及ぶ 夕 抜虹 シ その他 助敗 タ 顕顕部 躯拳 商出した ト摘出し   両側 (全和)()   世なし)	及ばない (陽骨動脈・鎖骨 ( まび) 手術日 ( 東成) 年 月	下血管含む)
に関してた金子での手術ができます。 関してた 変素に 変素に がいて 1回の み 等される 場合 同一欄に 手術日をご記入ください	種類(1~12)	変当する 該当する まのを すべてご記入ぐださい。	術の場合 ⇒ ア、後 ⇒ オ、新たな穿頭 所の場合、MP関節 簡節内の切断・切開 認め手術の場合、 ; 名(気管切開	風血 イ. 非観血 分. 既存の穿頭引 を含めて中枢側に - ・総合を ⇒ ス件う 子宮または卵巣を - 、ステント留置、	Aを使用 ⇒ ケ.及ぶ コ.及は セ.伴わない ⇒ チ.全摘、ツ.全摘 、TAE、持続的ド	植皮術・筋の 口腔内手術 ない 骨内異物的 カデーテル以外 悪性腫瘍() レナージ・シャン おお 仕 臓器の場合	iの場合、顎骨への操 法術の場合 ⇒ サ 手術の場合 ⇒ サ 悪性組織)を ⇒ テ・ラ ント術等含む)	作 ⇒ 末 及ぶ 夕 抜釘 シ その他 助版 タ 頭頸部 躯奏 商出した ト 摘出し 面側 (令和)() 宣なし)	及ばない (陽骨動脈・鎖骨 ( (陽骨動脈・鎖骨 ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( ( (	下血管含む)
に実全での表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表示を表	種類(1~12) (1~12) 3回目以降	をご記入ください。 談当する   筋骨関係の手	術の場合 今 ア、後 今 水 新たな穿頭 術の場合、MP関節 創節内の切断・切開 誤器の手術の場合、 「 名 (気管切開	見血 イ、非観血 引 力、既存の穿頭引 を含めて中枢側に デ ・総合を ラ ス 伴う 子宮または卵巣を デ は、ステント留置、	Aを使用	植皮術・筋 口腔内手術 かい 骨内異物的 カデーテル 以外 悪性腫瘍() レナーン、対となる 部位に臓器の場合 に	iの場合、顎骨への操 R 去術の場合 ⇒ サル 手術の場合 ⇒ サル 悪性組織)を ⇒ ティ ント術等含む) る ⇒ 右 左 )(算)	作 学 末、及ぶ / 5 接近 / ジ その他 即敗 夕 頭頸部 級章 商出した / 下摘出 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	及ばない (傷骨動脈・鎖骨 (な) 手 術 日 (或) 年 月 (或)	下血管含む) 
に実全でのでは、	種 類 (1~12) (1~12) 3回目以降 治療の	をご記入 ださい。	術の場合 今 ア 後 ラ 水 新たな穿頭	見血 イ、非観血 負 力、既存の穿頭引 を含めて中枢側に ・縫合を ラ ス 伴う 子宮または卵巣を ラ 、ステント留置、 ・手術内容等をご記 ・ る先進医療のみご ・ 総和 ・ で成。 ・ 年	Aを使用	植皮術・筋の 日本	回場合、類骨への操 法術の場合 ラ サー 手術の場合 ラ ソ ② 悪性組織)を ラ テラント 術等含む) 本 一	作 今 末 及ぶ 万 抜釘 シ その他 助敗 夕 頭頸部 駆撃 南出した ト 摘出し 一 面側 一 章和 ) 一 章和 ) 一 章和 ) 一 章和 ) 一 章本 )	及ばない (陽骨動脈・鎖骨 (取) 手 術 日 (或) 年 月 (のみご記入くださ	下血管含む)
に実全でのでは、 実をである。 に実をである。 に表する。 に表する。 に表する。 に表する。 に表する。 に表する。 に表する。 になる。 になる。 になる。 になる。 にないの。 のの。 でいる。 のの。 でいる。 のの。 ののの。 でいる。 のののの。 ののの。 ののの。 ののの。 ののの。 ののの。 ののの。 ののの。 ののの。 のののの。 のののの。 のののの。 のののの。 のののの。 のののの。 のののの。 ののののの。 のののののの。 のののののののの	種 類 (1~12) (1~12) 3回目以降 か乗 療 の実 施日	をご記入ください。  「該当する」 ものをすべてご記入ださい。  「夢頭衛の場合 手指足指の手行 筋・腱・靭帯・膜 子宮・子宮附属 内 容 手術 (アート)  「アート)  「アート)  の手術があれば、手術名、 「貴院にて評価療養として施 漢成 年 月 放射線または温熱系 3割)(定位照射)(温	術の場合 今 ア 後 ラ 水 新たな穿頭	別血 イ・非観血	Aを使用	植皮術・筋 口腔内手術 かい 骨内異物的 カテーテル 以外 悪性腫瘍( サージ、対とな場合で、臓器の、場合で、臓器の、場合で、 た右で・臓器の、場合で、 大部位・臓器の、場合で、 大部位・臓器の、場合で、 大部位・ 大部位 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	回場合、類骨への操 法術の場合 ラ サー 手術の場合 ラ ソ ② 悪性組織)を ラ テラント 術等含む) 本 一	作 学 末、及ぶ / 5 接近 / ジ その他 即敗 夕 頭頸部 級章 商出した / 下摘出 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	及ばない (陽骨動脈・鎖骨 (取) <b>手 術 日</b> (或) 年 月 (のみご記入くださ	下血管含む)
に実全で 関施の手が翻て 会を療表にみ場合をい 例網など 8.先進医 9.放射 8.先進 9.放射	種 類 (1~12) (1~12) 3回目以降 治療の類 治療の実施日	をご記入ください。  「該当する」 ものをすべてご記入ださい。  「夢頭衛の場合 手指足指の手行 筋・腱・靭帯・膜 子宮・子宮附属 内 容 手術 (アート)  「アート)  「アート)  の手術があれば、手術名、 「貴院にて評価療養として施 漢成 年 月 放射線または温熱系 3割)(定位照射)(温	術の場合 今 ア 後 ラ 水 新たな穿頭	見血 イ・非観血	Aを使用	植皮術・筋 口腔内等術 かい 骨内異物的 カテーテル レナー・ジン 対の 場合 サーガー 一対の 一対の 一対の 一対の 一対の 一対の 一対の 一対の 場合 を部() - ( な場合 を部() - ( な場合	10場合、類骨への操 法術の場合 ⇒ サッチ 手術の場合 ⇒ サット (新等含む) ・	作	及ばない	下血管含む) 
に 実全 療表に み場 に 大	種 類 (1~12) (1~12) 3回目以降 治療の類 治療の実施日 (本外駅 その代 1.の傷病 1 2	をご記入ください。    お骨関係の手	病の場合 今 ア 後	規価 / ・非観価 / ・ ・	Aを使用	植皮術・筋 口腔内手術 かけ、 骨内異物師 カテーデル 以外 悪性腫瘍( レナージ 対ない場合で 一対の場合で、 左右で・一対の場合で、 左右で・一対の場合で、 大部で、 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	回場合、顎骨への操法術の場合 ラサル 手術の場合 ラナル 要性組織)を ラテッシント が等含む) 本 右 左 )(算 が は か は か は か は か は か は か は か は か は か は	作 今 末 及ぶ 万 抜虹 タ 大 の他 明版 タ 顕顕部 躯章 商出した ト 摘出し で	及ばない (陽骨動脈・鎖骨 (明子動脈・鎖骨 (明子動脈・鎖骨 (明子) (明子) (明子) (明子) (明子) (明子) (明子) (明子)	下血管含む)
に実全を療表のみ場に入ってた術 翻げ 定は 原施の 療法 4 年 2 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3 年 3	種 類 (1~12) (1~12) (1~12) 治療の類 治療 施日 (体外界 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2	をご記入ください。    お骨関係の手	病の場合 ラアで ラオ・新たな穿頭 病の場合、MP関節 部の場合、MP関節 部の場合、 ・名(気管切開 ・子術日、手術種類 ・行が認められています。 会な)に〇日を ・タ10 11 ・タ10 11 ・タ10 11 ・タ10 11	現血 イ・非観血 が、既存の穿頭引 を含めて中枢側に ・総合を ラス 伴う 子宮または卵巣を ・・ステント留置 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	代を使用	植皮術・筋 口腔内手術 かい 骨内異物師 カデーアル 以外 悪性腫瘍() レナージ、シャ た右に臓器の場合 で一対となる部位・臓器の場合 に	回場合、類骨への操 法術の場合 ラ リ 手術の場合 ラ リ 型 悪性組織)を ラ テ 引 ン ト 術等 含 む ) 、	作 今 末 及ぶ 万 抜釘 シ その他 眼 夕 頭頸部 躯章 商出した ト 摘出し で 1	及ばない (傷骨動脈・鎖骨 (傷骨動脈・鎖骨 (水) (傷骨動脈・鎖骨 (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水)	下血管含む) 日 日 日 日 日 日 日 日
に 実全	種 類 (1~12) (1~12) (1~12)	をご記入ください。	病の場合 ラアで ラオ・新たな穿頭 病の場合、MP関節 部の場合、MP関節 部の場合、 ・名(気管切開 ・子術日、手術種類 ・行が認められています。 会な)に〇日を ・タ10 11 ・タ10 11 ・タ10 11 ・タ10 11	現血 イ・非観血	代を使用	植皮術・筋 口腔内手術 かい 骨内異物師 カテーテル 以外 悪性腫瘍() レナージ、シャな 帯部位・臓器の場合 で一対となる 部位・臓器の場合 になる通院の場合は 20 21 22 20 21 22 20 21 22 20 21 22	回場合、類骨への操 法術の場合 ラ サ	作 今 末 及ぶ 万 抜館 夕 その他 服 夕 願頸部・躯章 商出した 「 「摘出し でなし」	及ばない (傷骨動脈・鎖骨 (傷骨動脈・鎖骨 (水) (傷骨動脈・鎖骨 (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水)	下血管含む) 
に実全 燃気回れ 側記 (大) 関節の 療式 (東) 原本の 療法 (東) 原本の 標式 (東) 原本の 標本 (東) 原本の にませる (東) 原本の にま	種 類 (1~12) (1~	まで記入ください。  「「表での通院治療日(往診 3 4 5 6 7 8 3 3 4 5 6 7 8 3 3 4 5 6 7 8 3 3 4 5 6 7 8 3 3 4 5 6 7 8 3 3 4 5 6 7 8 3 3 4 5 6 7 8 3 3 4 5 6 7 8 8	病の場合 タア 後	現血 イ・非観血	代を使用	植皮術・筋  口腔内手術   から   一段内手術   から   骨内異物   カテーテル   大子   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一	回場合、類骨への操 法術の場合 ラ リ 要性組織)を ラ テ ラ シント	作 今 末 及ぶ 万 抜鉱 シ その他 眼酸 タ 顕義部 躯養 簡出した ト摘出し でなし) (全和)(3) でなし) (全和)(4) でなし) (全和)(	及ばない (傷骨動脈・鎖骨 (傷骨動脈・鎖骨 (水) 年 月 (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水)	下血管含む)
に実全 無点回れ 側部 と	種 類 (1~12) (1~12) (1~12) (1~12) 治療 の 類 治療 の 異 治療 施 日 (本外 駅 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1 2 1	をご記入ください。  「「おりでの」」にはいます。  「おりでの」では、一年での」では、手術名。  「中での」では、一年での」では、一年での」では、一年での」に、一年でいます。  「中での」に、一年での」に、一年での」に、一年での」に、一年での」に、一年に、一年に、一年に、一年に、一年に、一年に、一年に、一年に、一年に、一年	病の場合 タア 後	現血 イ・非観血	代を使用	植皮術・筋  口腔内手術   から   一段内手術   から   骨内異物   カテーテル   大子   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一次   一	回場合、類骨への操 法術の場合 ラ サ	作 今 末 及ぶ 万 抜館 夕 その他 服 夕 願頸部・躯章 商出した 「 「摘出し でなし」	及ばない (傷骨動脈・鎖骨 (傷骨動脈・鎖骨 (水) (傷骨動脈・鎖骨 (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水) (水)	下血管含む) 